

様式 1

令和 6 年 2 月 2 6 日

見附市議会議長 様

見附市議会議員 樺澤 直純

## 一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 時代変化に順応する学校教育環境について

答弁を求める者 市 長 ・ 教 育 長

前回の令和 5 年 1 2 月見附市議会定例会での一般質問では時間も限られ、このテーマ関連について、引き続きいくつかお尋ねし、当市の見解をお聞きいたします。

### 1 中学校部活動の地域移行について

前回、私の最後の再質問のご答弁から、「見附市の今現在の方針としては、令和 8 年度に中学校部活動として休日の部活動は行わない」、「地域が子どもたちの受皿として、活動ができる場として充実していくことを目指していきたい」、「新学習指導要領の部活動の扱いや各種大会の扱いとの関連性」、「子どもたちがどこに参加していくのか」など、その時にお聞きしました様々な事柄から中学校部活動の地域移行への準備が進められている状況とそうではない状況の両方を感じました。

実際のところ、地域移行まで整えていく時間が約 2 年ありますが、地域の受皿の課題など色々と課題クリアまでは時間が有るようで無いようにも感じます。当市ではある程度のスパンで中学校部活動の地域移行へのための検討会議や各種の説明会等もされていることも承知しております。

最近までの検討会議等での地域移行への進捗状況をお聞かせください。

※番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ



## 2 今後の見附市における学校再編等について

令和5年12月見附市議会定例会での質問に対しては、以下のご答弁で  
ありました。

(以下、一部抜粋)

「今後の市内教育環境の在り方についてですが、タウンミーティングを  
はじめ、様々な場面でお寄せいただいた市民からの声を総合的に判断した  
上で、小規模校をどうするか、また学校施設をどうするかといった物理的  
要因にとどまるのではなく、さらなる少子化への進行が避けられない状況  
の中で、5年後、10年後、さらにその先を見据えたとき、小学校、中学  
校、それぞれにおいて、見附市としてどのような教育環境を整えていくべ  
きか、目指すべき教育環境の全体像やその実現に向けて望まれる支援のポ  
イント、また学校統廃合や学区の在り方などの具体的な手法まで、あらゆる  
可能性を排除することなく、教育環境を議論する場を設置することが必要  
かどうかについて、来年1月に予定している総合教育会議において協議  
していく予定としております。」

(1) 令和6年1月12日に総合教育会議を開催されたようですが、  
協議の結果をお聞かせください。

(2) 今後の見附市における学校再編等について、現時点での方向性等  
があればお聞かせください。